

2007年10月4日

淀川水系流域委員会 様

NPO 法人伊賀・水と緑の会
理事長 森本 博

申し入れ書

9月26日に開かれました第63回淀川水系流域委員会を傍聴しました折に、三重県伊賀市旧青山町の元町長始め、伊賀市々議会議員、各旧青山地区々長、旧川上地区水没者、遊水地々権者などの方々が大勢傍聴されていました。

後日、聞きましたところ、水資源機構川上ダム建設所が段取りしてバスで送迎されたとのことです。

以前にも、名張市や伊賀市で開催された住民対話集会で、同様のことが度々みかけられました。

新たな川づくりを考える国、行政、住民、河川管理者、水資源機構が同じテーブルに着いて熱い議論を科学的、合理的に話し合っている時に、水資源機構川上ダム建設所が、川上ダム建設推進の為、対話より感情論で対立を持ち込む姿勢は謹んでいただきたいと考え、会として申し入れをさせていただきます。

淀川水系流域委員会としての対処をよろしくお願い申し上げます。